

職員意識調査結果の行動規範集（素案）への反映について

(1) 仕事に対する意識について

「Q2 自分の仕事に関する政策上の役割の理解度」と「Q3 仕事に対する誇り」の関連性 (P8)

→自分の仕事についての政策上の役割をよく理解しているほど、仕事に対する誇りを持っている傾向がある。

実践行動「四. 私は、チーム力を高め、よりよい仕事をします。」③ともに成長する

【具体的な取り組み】

「自分の仕事が市の政策上、どのような役割を果たしているか考え、目的意識を持って、仕事に取り組みます。」を追加

【部下を持つ職員の取り組み】

「目的意識を持って仕事に取り組めるよう、組織目標の共有や各職員の仕事の市の政策上の意義について、ともに考え、仕事への動機づけを行います。」を追加

(2) 職場内のコミュニケーションについて

Q7 上司の指示に質問や意見できるか (P12)

→職階が下である・年齢層が低いほど、上司の指示に疑問を感じた時に、質問したり意見を言うことができないと感じる割合が高い傾向がある。

Q10 問題が生じたとき上司に報告しづらいと感じたことはあるか (P14)

→年齢層が低いほど、上司に問題を報告しづらい(できない)と回答する割合が高い傾向がある。

実践行動「四. 私は、チーム力を高め、よりよい仕事をします。」

① 職員同士がつながる

【部下を持つ職員の取り組み】

「自分の意見を押し付けるのではなく、部下の意見を積極的に聞きます。」を追加

(3) ミスの発生リスクや防止策、発生時の対応について

Q15 自分に割り振られている業務量 (P19)

→4割以上の職員が自分の業務量が多いと感じており、うち約1割が「多すぎる」と感じている。

Q17 職場におけるオーバーワークの発生の有無 (P21)

→約4割の職員が、職場において一部の人がオーバーワークになっていると感じている。

「Q15 業務量」と「Q18 業務繁忙による判断ミスリスク」の関連性 (P22)

→業務量が多いと感じている職員ほど、業務繁忙による判断ミスリスクを感じている傾向がある。

「Q15 業務量」と「Q24 引継」の関連性 (P29)

→業務量が多すぎると感じている職員では、適切な引継が行われていないと感じる職員の割合が、全体と比べて高い。

Q35 公務内の不祥事が発生する原因 (P37)

→「業務繁忙」が最も多く選択された。

実践行動「四. 私は、チーム力を高め、よりよい仕事をします。」②チームで取り組む

【部下を持つ職員の取り組み】

「一部の職員に業務が偏らないように、適切な業務配分を行います。」を追加

「Q19 上司への報告」と「Q20 上司からの確認」の関連性 (P25)

→上司から適切に確認を受けていると感じている職員ほど、上司に適切に報告をしている傾向がある。

実践行動「三. 私は、正確性を期し、積極果敢に仕事をします。」

① 正確な仕事のために

【具体的な取り組み】

推進委員会における意見も踏まえ、「ホウ・レン・ソウ（報告・連絡・相談）を徹底します。」を追加。

【部下を持つ職員の取り組み】

「日頃から声掛けをするなど、部下が相談しやすい雰囲気を作ります」、「職場ミーティングなどにより、それぞれの業務の進捗状況を把握します」（骨子の段階で盛り込み済み）

「Q25 マニュアル等の有無」と「Q24 引継」の関連性 (P31)

→「マニュアル等があり更新されている」と考えている職員では、適切な引継が行われていると
考えている職員が、全体と比べて多い。

実践行動「三. 私は、正確性を期し、積極果敢に仕事をします。」

① 正確な仕事のために

【具体的な取り組み】

「できる限り自身の業務に関するマニュアルを作成し、常に見直し、誰でもその業務を行うことができる環境を作ります。」「後任者への事務の引き継ぎを徹底します。」(骨子の段階で盛り込み済み)

【部下を持つ職員の取り組み】

「各業務のマニュアル作成を促すとともに、異動期には、後任者への事務引継の徹底を図ります。」(骨子の段階で盛り込み済み)

Q30 自分の職場内で不正を見聞きしたことがあるか、Q31 是正のための行動をしたか 等 (P34)

→全体の 3.8% (145 人) が不正を見たことがあるとしており、そのうち是正のための行動をしたのは約半数であった。行動をしなかった理由としては、「上司も黙認していたため」(47.7%、31 人) が最も多かった。

実践行動「二. 私は、法令等を遵守し、公務内外にわたり、高い倫理観を持って行動します」 ②迷ったら基本に戻る

【部下を持つ職員の取り組み】

「ルールに従って、業務や手続きが行われているか、チェックし、ルール通りに行われていない場合には、必ず指摘します。」を追加。

Q34 本市職員の不祥事があった時に、自分の場合に置き換えて考えることはあるか (P36)

→職階が下であるほど、考えない割合が増える傾向にある。

実践行動「二. 私は、法令等を遵守し、公務内外にわたり、高い倫理観を持って行動します」 ③公務外でも公務員

【具体的な取り組み】

「不祥事等があった場合には、他人事とせず、自分の場合に置き換えて考えます。」を追加

【部下を持つ職員の取り組み】

「他都市や民間企業も含め、不祥事等があった場合には、部下に情報提供し、注意喚起を行います。」を追加

(6) 仙台市職員としての行動について

Q38 仙台市職員として市民からの信頼を得るために必要な要素は何か (P40)

→ 「法令等の遵守」、「市民の視点に立った考え方」に次いで、「担当業務に関する十分な知識や技術」が多く選択されている。

実践行動「三. 私は、正確性を期し、積極果敢に仕事をします。」③あくなき改善

【具体的な取り組み】

「担当業務に関する十分な知識や技術を身に付けるとともに、新たな知識や技術の習得に努めます。」を追加

【部下を持つ職員の取り組み】

「知識や技術の習得のための研修受講を奨励するとともに、新たな知識や技術にアンテナを張って、部下に情報提供します。」を追加